

自分の将来を自分で切り拓く子どもの育成

～キャリア教育の視点を生かした授業改善と主体性の育成～

棚倉町立高野小学校 校長 高木 徹

1 研究の趣旨

本校は、平成25年度から棚倉町の教育の重点施策であるキャリア教育を中心に「子どもの自主性・主体性の育成」を目指し、6年目を迎えている。棚倉町が進めるキャリア教育は、単なる職業教育だけではなく日常の教育活動をキャリア教育の視点で見つめなおし「基礎的・汎用的能力」を育み「自己肯定感」を高めることをめざし、保幼・小・中・高まで一貫した理念を持って取り組んでいる。本校でも、キャリア教育を基盤とした学校経営・運営ビジョン及び、「高野小学校幼小一貫教育6カ年戦略」をもとに、授業及び行事・日常の教育活動で育てる基礎的・汎用的能力を教師・児童が意識できる手立てを講じている。また、校舎を同じにする高野幼稚園と高野小学校の9年間の保育と教育をつなぎ、自主性・主体性を身につけるための教育活動を展開することで、自分の将来を自分で切り拓く子どもの育成を目指している。

2 研究の概要

(1) 高野小学校が考えるキャリア教育

- ① 単発の職業体験による教育ではなく、学校教育全体で「基礎的・汎用的能力」を育成する教育。
- ② 基礎的・汎用的能力の4能力を分かりやすい言葉で自校化し、教師も児童も意識を高める。

(2) 「高野小学校幼小一貫教育6カ年計画」によるキャリア教育の推進

- ① 基礎的・汎用的能力の育成を教師と児童共に意識した授業づくりに努める。
- ② 自主的・主体的な活動の場を設定し、児童自ら考え・判断し行動する機会を保障する。
- ③ 高野の環境の強みを生かし、幼小連携の意識を互いに強め、幼小の学びをつなげる。
- ④ 家庭・地域とのつながりを意識し、子どもの成長のために大切なことを共に考える機会を作る。

3 成果と今後の課題

(1) 研究の成果

- ① 基礎的・汎用的能力育成の基本を日常の授業の中で培うため、教師自身の指導の工夫が多く見られた。
- ② キャリア能力意識アンケートにより、基礎的・汎用的能力の向上が見られると、児童の学力にも良い影響が見られた。キャリア教育を進めることで、児童の学力向上への効果が見られた。
- ③ 児童が自主的な活動ができる場と時間を設定し、教師が児童に任せる意識を高く持つことで、児童自らが考え行動し、やり遂げる体験を積むことができる。学級の係活動や学校の委員会活動、行事の中で児童は自主的に活動する体験を積み重ね、自主的・主体的な行動が多くみられるようになった。
- ④ 保護者や地域の方にも機会あるごとにキャリア教育について語ることで、キャリア教育を軸に意識をつなげることができている。

(2) 今後の課題

- ① 6年間の中で蓄積してきたキャリア教育につながる活動や実践を、精選する時期にきている。一つ一つの実践を見つめなおし、精度を上げていきたい。
- ② キャリア教育に対する評価は、キャリア能力意識のアンケートと諸活動・実践の教師の見取りである。キャリア能力に対する評価についても研究していく必要がある。